

## 読売新聞 きょう（9月17日）のイチ押し

### 1面など 拉致 遠ざかる対話 日朝首脳会談20年

2002年9月に当時の小泉首相が北朝鮮を訪問し、首脳会談に臨んでから17日で20年になります。拉致被害者5人の帰国は実現したものの、その後の交渉は停滞し、近年は政府間の公式対話もできないままです。

- ★ 小泉首相は金正日総書記と会談し、国交正常化交渉の再開などの合意内容をまとめた日朝平壤宣言に署名。日本政府はこの宣言に基づき、拉致や核・ミサイル開発といった問題の一括解決を目指してきましたが、北朝鮮は対話の窓を閉ざし、状況は年々厳しくなっています。
- ★ 特別面（10面）で北朝鮮による拉致事件を詳しく解説しているほか、横田早紀江さんら被害者家族の思いを社会面連載「拉致 失われた時」第2回で取り上げています。解説面（11面）の「論点スペシャル」では、北朝鮮問題の解決策を日米の専門家3人に聞いています。

### 第2社会面 新ワクチン、順次対象を拡大

新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」に対応した新たなワクチンの接種が20日から始まります。従来株や、現在の流行の主流となっている系統「BA・5」にも一定の効果が見込まれています。

- ★ 接種開始時期は自治体によって様々です。4回目を接種していない60歳以上の人や基礎疾患のある18歳以上の人、医療従事者から始め、10月中旬までに順次拡大されます。
- ★ 厚生労働省は全ての希望者への接種を年内に完了することを目指しています。ただし、新ワクチンは3回目以降の追加接種を対象としており、従来型を2回接種していない人は、すぐには打てません。

#### 他紙と比べて

今年の米アカデミー賞国際長編映画賞を受賞した「ドライブ・マイ・カー」は、主要シーンが広島県内で撮影されました。関西経済面（7面）のインタビューシリーズ「広論」では、撮影ロケを支えた「広島フィルム・コミッション」の西崎智子さんが、ロケの誘致が地域の経済や文化振興にいかに関与しているかについて語っています。